

③① イノシシの不思議

ボタン鍋を食べた事があるかな？そう。イノシシの鍋だ。肉をきれいに並べるとボタンの花に似ているらしい。では、イノシシとはいったいどんな動物だろう？

③② カエルの不思議

カエルを捕まえた事があるかな？ネトネトしていてちょっと気持ちが悪い。春、田んぼに水が入ると山からカエルが出てくる。ゲロゲロ、コロコロ、グーグー。みんな少しずつ声が違う。どうしてだろう？この章ではカエルについて考えてみよう。

③③ 免疫の不思議

私たちの体は守られている。体の外には変なやつらが沢山いて、私たちの体の中であばれたり、増えようとしている。それを防ぐのは免疫。ガードマンのようなものだ。体のガードマンの研究をしてみよう。

③④ ミツバチの不思議

春になると花がいっぱい。レンゲ、ナノハナ、ツツジなど。花には昆虫がやってくる。ハチにチョウ、それにコガネムシもやってくる。代表的な昆虫はミツバチ。この章でミツバチの研究をしてみよう。

③⑤ アカウミガメの赤ちゃんの不思議

日本は世界でも有数なウミガメ天国。夏になると関東から沖縄にかけて砂浜ではアカウミガメの赤ちゃんが砂の中から出てくる。北太平洋では日本だけだ。他にも南西諸島ではアオウミガメやタイマイの赤ちゃんも誕生する。でも、ウミガメの赤ちゃんは小さい。どうしてあの広い海で生きていけるのだろう。

③⑥ アカウミガメのお母さんの不思議

ウミガメは現在 8 種類いる。でもずっと昔は 300 種類もいたらしい。恐竜が歩いている頃の事だ。昔のウミガメはどんな暮らしをしていて絶滅したんだろうか？河口に住んでいたカメ。超巨大なカメ。小さなカメ。色々いた。でも、みんな絶滅してしまった。今のウミガメの生活をみて考えてみよう。

③⑦ ウミガメの餌の不思議

ウミガメは現在 8 種類いる。前は 7 種類だったけど、新種がいて 8 種類になった。新種はクロウミガメ。大昔は 300 種類いて、そのうち 8 種類はうまく生き残ってきた。どうしてうまく生き残ったのだろう？

③⑧ ヘビの不思議

ヘビにも色んな種類がいる。この章ではヘビについて考えてみよう。

③⑨ サンゴの不思議

サンゴというと赤いサンゴを思い出す人が多い。でも、人間が最も関係があるサンゴは違う。沖縄にたくさんあるサンゴは死んだら真っ白だ。オニヒトデが食べた後も白い。サンゴについて考えてみよう。

④⑩ 恐竜の不思議

恐竜は肉食と草食で頭の大きさが違う。この章では恐竜について考えてみよう。

④⑪ ペンギンの不思議

ペンギンは一夫一妻性でペアになって同じ相手と一生を添い遂げると言われている。この章ではペンギンについて考えてみよう。

④⑫ 微生物の不思議

微生物って言葉を知ってる？ミジンコも微生物。コロナウイルスも微生物。微生物には色々いる。ミジンコのように多細胞生物もいる。ゾウリムシは単細胞だ。大腸菌や乳酸菌は細菌だし、さらにウイルスというのは生物ではないのだ。

④⑬ マグロの不思議

マグロというといつお寿司屋を思い出してしまう。でもどうしてあんなに人気があるのだろう。赤いからだろうか？独特の食感だからだろうか？握ってもおいしい、回っていてもおいしい。この章では海のマグロに事を考えてみよう。

④⑭ きよくひ動物の不思議

棘皮（きよくひ）動物って知ってる？棘（トゲ）の皮って書くんだ。でも、トゲの皮とはいったい？ウニは知っているよね？あれは棘皮（きよくひ）動物。ナマコやヒトデ、それにウミジダも棘皮（きよくひ）動物。ナマコはあんなにヌルヌルしているのにね。棘皮（きよくひ）動物について考えてみよう。